令和8年11月定例記者会見

■日時：10月30日（金） 午前11時00分

■場所：4階特別会議室

〇会見項目

《施策》

１．	市勢功労者・市民奨励賞の表彰	（総務課）

《催事等》

１．	宮古市つなげるいのちの写真展	（危機管理課）
２．	第 40 回宮古サーモン・ハーフマラソン大会	（スポーツ文化課）
３．	笠原将弘シェフによる料理教室の開催及びレシピ本の寄贈	（学校教育課）
４．	しごとメッセ in 宮古 2026	（企業立地港湾課）
５．	シンポジウム「がんと折り合いをつけて生きる」	（健康課）
６．	黒石市・宮古市姉妹都市締結 60 周年記念事業	（交流推進課）
７．	津軽石小学校創立 150 周年記念式典	（学校教育課）
８．	第 47 回宮古市田老 鮭・あわびまつり	（田老総合事務所）
９．	三陸 MCT×ジオパークシンポジウム 2026	（観光課）

〇会見内容

別紙資料のとおり。

〇記者との質疑

≪催事1. 宮古市つなげるいのちの写真展≫

岩手日報

震災写真等返却センター特設窓口では、どのような形で写真等の遺留品を閲覧できるのか。また、点数はどの程度あるのか。

危機管理課防災係長

遺留品の実物は別の場所で保管しており、特設窓口では、遺留品を撮影した写真やファイル、パソコンに保存したデータを閲覧いただきます。該当するものがあった場合には、後日、市からお送りする形となります。点数については正確には把握していませんが、かなりの数がございます。

河北新報

　今回で何回目の開催か。また、昨年度開催しなかった理由、今年度の新たな取組は。

危機管理課防災係長

　令和3年度から開始し、今回で5回目の開催となります。昨年度は、これまで活動の中心となっていた後藤康文先生が一昨年にお亡くなりになられたことを受け、今後の開催に向けた準備期間が必要となったことから、開催を見送りました。今年度は、例年同様の展示に加え、新たな取組としてパネルディスカッションを実施します。

毎日新聞

　写真展への宮古市の関わりは。また、主催者はどこか。

危機管理課防災係長

　宮古市は後援という形で関わっています。主催は、市民有志による実行委員会です。

≪その他1. クルーズ船の寄港及び宮古駅前での社会実験について≫

河北新報

　クルーズ船の寄港により外国人観光客が多く訪れている状況をどのように受け止めているか。また、宮古駅前で実施している社会実験について、現時点でどのような効果や課題を感じているか。

市長

　クルーズ船については、11月1日の「シーボーン・アンコール」の入港をもって、今年予定していた全23回の寄港が完了します。そのうち18回が外国客船でしたが、市民をはじめ迎え入れる側も、外国人観光客への対応に慣れてきたと感じています。外国からお越しになる方々には、都市的な魅力というよりも、宮古の人の温かさや親しみやすさを感じて喜んでいただいている印象を持っています。

　宮古駅前での社会実験については、駅前再整備に向け、実際に空間を利用していただきながら、どのようなニーズがあるのかを検証しています。客船の入港時など、イベント開催時には多くの利用が見られる一方、平日の日常的な利用や常設での賑わいづくりには、まだ課題があると認識しています。また、若い世代の利用は見られますが、高齢者の皆さんがサークル活動や交流の場として利用できる環境づくりなど、社会実験を実施したことで見えてきた課題もあります。こうした検証結果を、今後のまちづくりに活かしていきたいと考えています。

≪その他2. 秋サケの漁獲状況について≫

毎日新聞

　今年の秋サケの漁獲状況はどうか。

田老総合事務所長

田老地区では9月中旬から定置網漁を開始していますが、昨日時点での入網数は3本にとどまっており、非常に厳しい状況となっています。川での捕獲についてはまだ行っておらず、これから開始する段階です。

市長

市内の水産加工業者では、早い段階で不漁を予測し、北海道から十数トン単位で秋サケを買い付け、陸送などで搬入しています。各社が得意とする加工技術を活かして商品づくりに取り組んでいますが、これは今年に限ったものではなく、近年の不漁傾向に対応して数年前から実施している取組です。

令和８年 11 月
定例記者会見

日　時　令和８年 10 月 30 日（金）午前 11 時 00 分

場　所　宮古市役所４階特別会議室

《施策》

No.	項目名	所管課
1	市勢功労者・市民奨励賞の表彰	総務課

《催事等》

No.	項目名	開催日	所管課
1	宮古市つなげるいのちの写真展	11/7,8	危機管理課
2	第 40 回宮古サーモン・ハーフマラソン大会	11/8	スポーツ文化課
3	笠原将弘シェフによる料理教室の開催及びレシピ本の寄贈	11/10,11	学校教育課
4	しごとメッセ in 宮古 2026	11/20	企業立地港湾課
5	シンポジウム「がんと折り合いをつけて生きる」	11/21	健康課
6	黒石市・宮古市姉妹都市締結 60 周年記念事業	11/21	交流推進課
7	津軽石小学校創立 150 周年記念式典	11/21	学校教育課
8	第 47 回宮古市田老 鮭・あわびまつり	11/22	田老総合事務所
9	三陸 MCT×ジオパークシンポジウム 2026	11/29	観光課

資料_施策１

市勢功労者・市民奨励賞の表彰

１　趣　旨

（１）市勢功労者

公共の福祉と市勢の進展に尽くし、その功績が顕著であって、他の模範と認められる個人・団体を表彰する。

（２）市民奨励賞

広く市民に敬愛され、市民に明るい希望と活力を与えることに顕著な業績があった方々を表彰する。

２　令和８年度の被表彰者

（１）市勢功労者　15 名、３団体

（自治功労者１名、教育功労者１名、民生功労者４名、産業功労者４名、統計功労者１名、治安功労者３名、文化功労者１名３団体）

（２）市民奨励賞　２名

３　表彰式の概要

（１）日時　令和８年 11 月 25 日（水）14:00～

（２）会場　市民交流センター２階　多目的ホール

（３）主催　宮古市

（４）内容　被表彰者一人一人に、表彰楯を授与する。

（５）記念写真撮影　式典終了後、被表彰者全員で記念写真撮影を行う。

４　問い合わせ

市総務課行政係（☎68-9061）

令和８年度宮古市市勢功労被表彰候補者の功績
（令和８年 11 月 25 日表彰予定者）

（敬称略）

功労区分	氏名・年齢	住　所	功　績
自治功労者（その他の特別職）	飛澤（とびさわ）　教男（のりお）（74歳）	宮古市蟇目	平成13年２月１日、新里村農業委員会委員に就任以降、令和７年12月までの24年11カ月もの永きにわたり農業委員会委員として活動した。宮古市の農地利用調整、地域農業マスタープランの作成支援や農地パトロールによる遊休農地解消等に貢献した。 平成24年６月から令和６年６月までの12年間、宮古市農業委員会会長として委員会の運営を円滑に行い、農地法に基づく適正な事務の執行に尽力した。
教育功労者（学校教育功労者）	伊藤（いとう）　晃二（こうじ）（74歳）	宮古市西ヶ丘	昭和 50 年４月水沢市立南中学校教諭を拝命以来、50 年７カ月の永きにわたり中学校教諭、宮古教育事務所指導主事兼保健体育主事等、宮古市教育委員会事務局学校教育課長、教育事務所長、中学校長、宮古市教育委員会教育長を歴任した。 その間、温厚にして卓越した行政手腕と教育実践力により教育基盤の安定と学校教育及び教育行政の推進に多大な貢献をした。
民生功労者（民生委員等）	菊地（きくち）　辰志（たつし）（74歳）	宮古市八木沢	平成６年１月１日から令和７年11月30日までの間、民生委員・児童委員として31年11カ月の永きにわたり、地域住民の保護更正活動に尽力した。
民生功労者（保健医療）	高橋（たかはし）　幸成（こうせい）（75歳）	宮古市西ヶ丘	昭和56年12月から永きにわたり精神科専門医、産業医及び嘱託医として、地域住民の精神医療の確保と健康管理等、多種にわたる医業に従事し、精神保健福祉の向上に貢献した。 また、平成14年４月から平成21年２月まで、一般社団法人宮古医師会の理事として、組織の円滑な運営と発展に寄与し、宮古地域における保健医療体制の充実と強化に尽力した。
民生功労者（保健医療）	駒井（こまい）　豊一（とよかず）（75歳）	宮古市小沢	昭和61年から40年７カ月の永きにわたり地域に根ざした歯科医師として、児童生徒をはじめ地域住民の歯科治療と口腔保健指導に尽力し、歯と口腔の健康増進、延いては生活習慣の改善、健康意識の向上に多大な貢献している。 また、平成６年４月から平成９年３月まで、宮古歯科医師会の理事として、組織の円滑な運営と発展に寄与し、宮古地域における歯科医療体制の充実と強化に尽力した。

（敬称略）

功労区分	氏名・年齢	住　　所	功　　績
民生功労者（交通安全功労者）	金澤（かなざわ）　綾子（あやこ）（59歳）	宮古市西ヶ丘	平成18年からの永きにわたり交通指導員として精励し、幼児、小中学生の交通安全教室を通じて、「子どもを交通事故から守ること」を重点に、数々の交通事故防止活動を企画実践するとともに、他の交通安全関係団体と協調しながら、市民の交通安全意識の高揚と事故防止に取り組み、交通安全思想の普及に大きく貢献している。 また、通学路における街頭指導を隊員拝命以来20年間続けており地域の防犯団体と連携し、地域の交通安全に尽力している。
産業功労者（各種産業功労者）	花坂（はなさか）　康太郎（こうたろう）（74歳）	宮古市西ヶ丘	宮古商工会議所は、地域商工業の振興と地域経済の発展を目的とする総合経済団体であり、事業者支援や地域振興活動を通じて、本市の活性化に重要な役割を担っている。 同氏は、平成３年から議員、常議員、副会頭を歴任し、平成22年３月に会頭に就任して以来、宮古商工会議所の要職を担う者として、地域商工業の振興と地域経済の発展に貢献し、東日本大震災、平成28年台風第10号などの地域経済に深刻な影響を及ぼす困難な状況にあっては、会員事業者の支援、関係機関との調整・連携を行い地域経済の早期回復に向け尽力した。 今年姉妹都市締結60周年を迎える黒石市との間では、商工会議所相互の交流を深め、両市の友好関係の増進と姉妹都市交流の推進に寄与した。
産業功労者（各種産業功労者）	坂尾（さかお）　耕作（こうさく）（67歳） ラサ工業株式会社 代表取締役会長	千葉県船橋市藤原	ラサ工業株式会社は、昭和11年11月に旧田老町で銅・硫化鉱を採掘する田老鉱山を操業、その後、昭和14年6月に銅精錬所、同年8月に硫酸・過リン酸石灰の操業を宮古市小山田にて開始した。その後、社会環境の変化に伴い一時は撤退することとなったが、昭和56年石油精製用触媒再生事業を行う日本シーアールアイ株式会社（現：NCRI営業部宮古工場）を設立、昭和60年に化合物半導体の原材料となる高純度無機素材の製造を電子材料事業部宮古工場にて本格操業開始し、90年の永きにわたり本市において産業の基盤から人々の暮らしまで支え続けている。 同氏は、平成18年に大阪工場長就任以来、20年間にわたり同社の役職員を歴任し、令和元年から代表取締役社長、本年６月には同社代表取締役会長に就任、これまで同社の事業拡大に努め、当市の雇用の安定と地域経済の発展に多大な貢献をしている。

（敬称略）

功労区分	氏名・年齢	住　　所	功　　績
産業功労者 （各種産業功労者）	石井（いしい） 和徳（かずのり） （66歳） ヒロセ電機株式会社 前 取締役会長	東京都町田市原町田	ヒロセ電機株式会社は、昭和49年３月本市赤前地区に東北ヒロセ電機株式会社宮古工場を設置し、52年の永きにわたり、地元に根ざした電子部品・産業用電子機器製造を行っている。 同氏は、平成19年にヒロセ電機株式会社の営業副本部長に就任以来、執行役員、取締役を歴任し、平成24年６月から令和７年６月までヒロセ電機株式会社及び東北ヒロセ電機株式会社の代表取締役社長を務めた。この間、宮古地域にある協力会社、関連企業の経営安定にも寄与し、雇用の安定と地域経済の発展に多大な貢献をした。
産業功労者 （各種産業功労者）	井上（いのうえ） 篤博（あつひろ） （66歳） ホクヨープライウッド株式会社 代表取締役社長	東京都千代田区富士見	ホクヨープライウッド株式会社は、昭和19年１月に刈屋合板株式会社として旧新里村で設立され、昭和23年に足立ベニヤ株式会社に改称、昭和42年２月に足立ベニヤ株式会社宮古工場を設置し、昭和61年12月に現在の社名へ変更した。82年の永きにわたり地域に根ざした合板製造事業を行っている。 同氏は、平成17年２月同社代表取締役社長として就任以来、合板製造事業のほか、植林間伐事業や分収造林事業へ参画するとともに、雇用の安定と地域経済の発展に多大な貢献をしている。
統計功労者 （各種統計功労者）	舘石（たていし） 政康（まさやす） （75歳）	宮古市川井	昭和55年に岩手県農林業統計調査員に任命されて以来、通算21年間、28回もの各種統計調査に携わり、統計業務の発展と精度向上に多大な貢献をした。 国勢調査においては、平成２年から令和７年まで連続して８回調査員として従事し、地域の実情を的確に把握した計画的かつ正確な調査活動により、常に円滑な実施に尽力した。 また、平成28年から市統計調査員協議会理事を務め、統計思想の普及と組織の発展にも多大な貢献をしている。

（敬称略）

功労区分	氏名・年齢	住　　所	功　　績
治安功労者（消防功労者）	箱石（はこいし）　良典（よしのり）（77歳）	宮古市山口	昭和50年３月に宮古市消防団に入団以来、52年６か月の永きにわたり消防業務に精励し、率先垂範して訓練に励むとともに、各戸を訪問しての防火指導や警戒巡視に努め、地域住民の防火意識の高揚、火災予防に大きく貢献した。 火災、風水害等の災害現場においては、的確な指揮により災害活動を支えた。 また、東日本大震災や平成28年台風10号災害では、管轄地区が被災する中、疲弊する部下団員を励ましながら的確な指揮により災害活動を支えた。 消防団活動における献身的な姿勢は、団員の模範であり、本市の消防力・防火力の向上に貢献している。
治安功労者（消防功労者）	髙坂（こうさか）　順一（じゅんいち）（75歳）	宮古市重茂	昭和54年６月に宮古市消防団に入団以来、37年10カ月の永きにわたり消防業務に精励し、率先垂範して訓練に励むとともに、各戸を訪問しての防火指導や警戒巡視に努め、地域住民の防火意識の高揚、火災予防に大きく貢献した。 また、東日本大震災では、管轄地区が被災する中、疲弊する部下団員を励ましながら的確な指揮により災害活動を支えた。 消防団活動における献身的な姿勢は、団員の模範であり、本市の消防力・防火力の向上に貢献した。
治安功労者（消防功労者）	佐々木（ささき）　知宏（ともひろ）（75歳）	宮古市音部	昭和58年11月に宮古市消防団に入団以来、38年９カ月の永きにわたり消防業務に精励し、率先垂範して訓練に励むとともに、各戸を訪問しての防火指導や警戒巡視に努め、地域住民の防火意識の高揚、火災予防に大きく貢献した。 平成23年２月に本部分団長へ昇任後も自己研鑽を重ねる姿勢や、献身的な部下団員への指揮指導を行った功績は特筆すべきものであり、その指導により、団員の技術向上と団結力強化に大きく貢献した。 消防団活動における献身的な姿勢は、団員の模範であり、本市の消防力・防火力の向上に貢献した。

（敬称略）

功労区分	氏名・年齢	住　　所	功　　績
文化功労者	小野寺（おのでら）　文雄（ふみお） （78歳）	宮古市崎山	昭和49年、宮古市芸術文化協会加盟団体である宮古市民管弦楽団入団、昭和63年には宮古市民管弦楽団の宮古吹奏楽団に組織替えすると同時に団長に就任し令和６年まで務めた。 宮古市芸術文化協会では、昭和56年から事務局員、平成13年から理事、副会長、会長を歴任し、地域の芸術文化活動への普及啓蒙に尽力している。また、後進育成のための指導や支援活動を継続して行い市内の吹奏楽団体並びに市芸術文化協会を長年にわたって支え続け、公私にわたって芸術文化への功績は顕著である。
文化功労者	山口太鼓の会（やまぐちだいこかい） 昭和47年５月設立	－	昭和47年の設立以降、伝統的な祭礼行事での奉納や宮古夏まつりや秋まつり、東日本大震災の復興支援チャリティー公演をはじめとする各種イベントに出演、次世代の育成にも力を入れ、伝統文化の継承や地域振興に貢献している。 さらには姫神コンサートによる全国各地、スペイン・中国公演など、市内外において様々なイベントや記念行事で目覚ましい活躍を続けており、創立50周年を経て、なお本市の魅力を広く発信し続けている功績は顕著である。
文化功労者	宮古（みやこ）あばれ太鼓（だいこ） 昭和48年設立	－	昭和48年にあばれ太鼓の前身である魚祭太鼓の結成以来、宮古夏まつりや秋まつり、各式典をはじめとする市内の各種イベントに出演し、愛・地球博や全国太鼓フェスティバルなど市外の行事にも参加し、太鼓を通じて宮古の文化と活気を発信してきた。 また、市内中学校や高等学校の生徒に対し太鼓指導を行い、子どもの太鼓体験を開催するなど地域交流や後進の育成にも貢献している。 宮古の海と、海とともに生きる人々を題材にした太鼓の演奏を通じて、全国に本市の魅力を発信してきた功績は顕著である。
文化功労者	神風宮古流星海（しんぷうみやこりゅうせいかい） 平成14年２月設立	－	平成14年に宮古市内で最初のよさこいチームとして設立されて以来、宮古夏まつり、秋まつりをはじめ市内のイベント等のほか、県内外の大規模なYOSAKOI祭りに出演し、ソーラン節を通じた交流の拡大と本市の魅力発信に顕著な功績を果たしている。 また、ソーラン節を教育活動に取り入れる市内小中学校の指導を行っており、技能向上だけでなく、子供の健全育成や身体障害者や不登校の児童の受け入れなど、教育と福祉の面からも社会に貢献している。

※年齢は、令和８年11月３日時点です。

令和８年度宮古市市民奨励賞表彰者の業績

（令和８年 11 月 25 日表彰予定者）

（敬称略）

表彰区分	氏名	業　　績
市民奨励賞	大村（おおむら）　光介（こうすけ）	R8.1月開催 第28回ジュニア・サクソフォーン・コンクール 金賞・グランプリ
市民奨励賞	大村（おおむら）　優奈（ゆな）	2026サマーアジア　バイアスロン選手権 インディビジュアル女子10Kmの部：３位入賞 スプリント女子６Kmの部：５位入賞

資料_催事1

東日本大震災から十五年『災害と生きる』

令和8年度

宮古市

つなげるいのちの写真展

～悲しみの中の優しさに火が灯る日　あの日を忘れない…～



※災害発生前年、被災地での七夕祭りの写真です。

2026年

11/7(土)▶8(日)

入場無料

会場：イーストピアみやこ

9:30～16:00（最終日は15:00まで）

問い合わせ　宮古市つなげるいのちの写真展実行委員会事務局
（津軽石運送有限会社内・長澤）　☎090-8787-9707

7(土)・8(日)　パネル展示

【1階/交流プラザ】
海上保安署、自衛隊、警察署、消防本部、消防団、宮古歯科医師会

7(土)のみ　災害伝承と防災に関する講演会・パネルディスカッション

【2階/多目的ホール】
講　　師：岩船敏行氏　山﨑俊雄氏
パネリスト：宮古市長　中村　尚道氏
衆議院議員 佐々木真琴氏
学生活動団体　暁
岩船敏行氏　山﨑俊雄氏

8(日)のみ　震災写真等返却センター特設窓口

【1階/会議室1】10:00～15:00

震災身元不明者相談会

【1階/会議室3】10:00～15:00

SNS開設

宮古市つなげるいのちの写真展 Instagram

インスタグラムアカウントを立ち上げました。
いのちの写真展のイベント情報などを発信していきます。

コチラから

パネル展示　東日本大震災当時の各団体の活動写真などを展示します。　1階　交流プラザ

釜石海上保安部宮古海上保安署



自衛隊宮古地域事務所



宮古警察署



宮古消防本部



宮古市消防団



宮古歯科医師会



災害伝承と防災に関する講演会・パネルディスカッション

■ 開催日時 / 場所

11月7日(土) 13：30～ / イーストピアみやこ　2階 多目的ホール

■ 講演会 / パネルディスカッション

講　　師：元 山田町教育委員会 教育長 岩船 敏行氏「生かされて 明日へ」　元 宮古消防職員 防災士 山﨑 俊雄氏「過去に学び 未来に備える」

パネリスト：宮古市長 中村 尚道氏　衆議院議員 佐々木 真琴氏

学生活動団体『暁』　岩船 敏行氏　山﨑 俊雄氏

司会進行：松本法律事務所 弁護士 松本 良啓氏

震災写真等返却センター特設窓口

震災で流出した写真等の遺留品を被災された方々にお返しいたします。

8日 10：00～15：00　1階 会議室1

写真返却センターについての詳細はこちら→

震災身元不明者相談会　8日　10：00～15：00　1階　会議室3

【主　催】 宮古市つなげるいのちの写真展実行委員会
【共　催】 岩手県北自動車㈱／昆デンタルクリニック／㈲すずらん介護事業所／津軽石運送有限会社・宮古シティーサービス／ふじたファミリークリニック／㈱文化印刷／㈱宮古衛生社／みやこ後藤医院／明治安田生命保険(相)宮古営業所／山本歯科医院
【後　援】 宮古市／宮古地区広域行政組合消防本部／岩手県警察本部／宮古警察署／宮古海上保安署／自衛隊岩手地方協力本部／自衛隊宮古地域事務所／宮古消防署／宮古市消防団／宮古歯科医師会

【問い合わせ】宮古市つなげるいのちの写真展実行委員会事務局　長澤（090-8787-9707）

資料_催事２

第 40 回宮古サーモン・ハーフマラソン大会

１　日　時

11 月９日(日)　午前８時～正午

２　会　場

開 会 式 ： 宮古消防署前広場
コ ー ス ： 市内マラソンコース
スタート ： ハーフマラソンの部…東北ヒロセ陸上競技場
10 キロ、５キロ、ペアマラソンの部…宮古地区合同庁舎前

３　主　催

宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会
（宮古市・㈱エフエム岩手・(一財）宮古市スポーツ協会　他）

４　申込者数

種目	区分	第 40 回 申込者数(名)	(参考)第 39 回大会 申込者数(名)
ハーフの部	一般男女	988	841
10kmの部	高校生以上の男女	936	816
5kmの部	中学生以上の男女	313	270
ペアマラソンの部	小学生1名を含む	560	534
合計		2,797	2,461

５　記念大会特別ゲスト及び特別ゲストランナー

特別ゲスト ： 間　寛平　氏（吉本興業㈱所属・吉本新喜劇ゼネラルマネージャー）

特別ｹﾞｽﾄﾗﾝﾅｰ ： よこっちピーマン 氏（吉本新喜劇座員・岩手県花巻市出身）

６　ゲストランナー

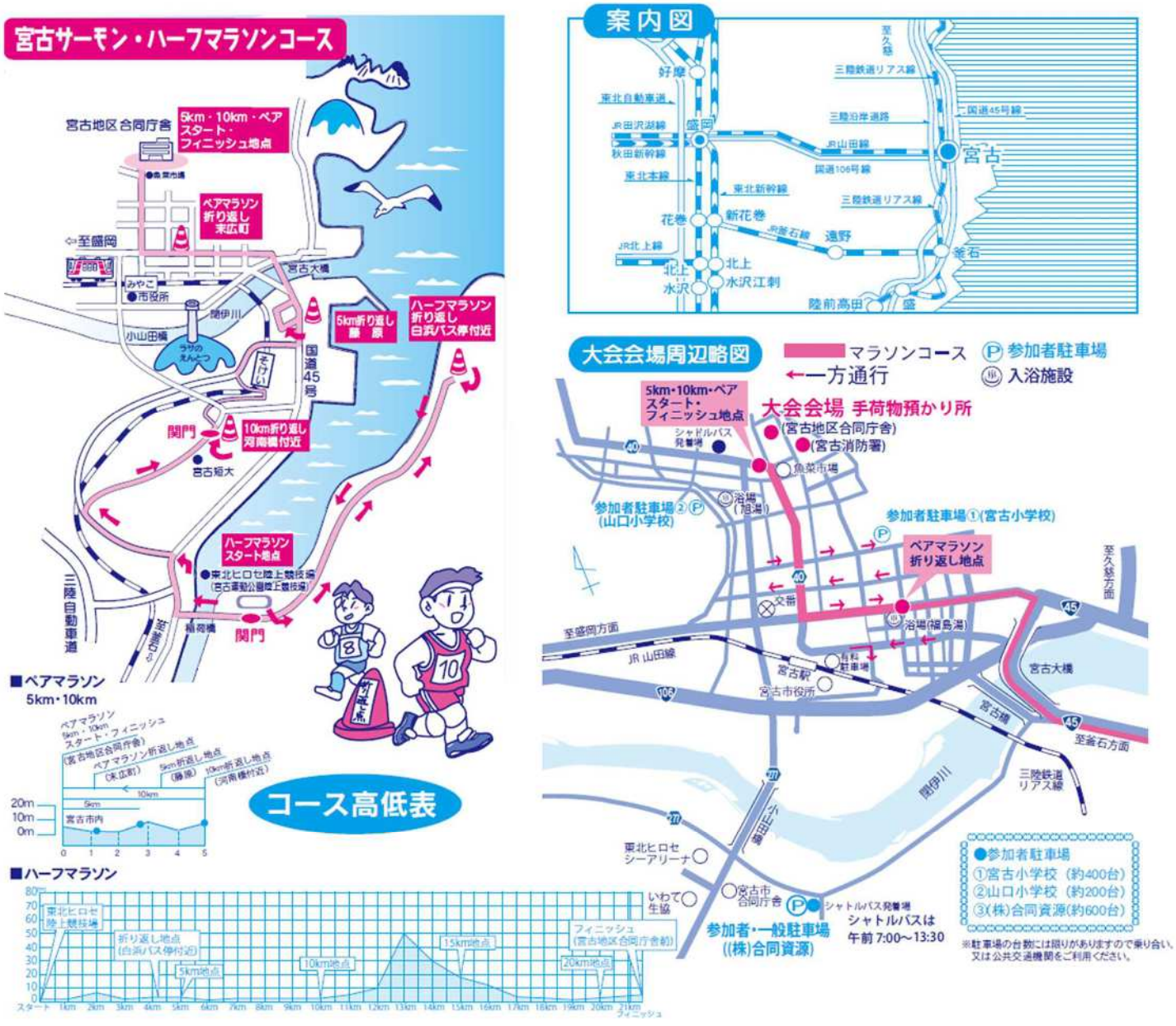
・青山学院大学陸上競技部…12 回目（H26～）　選手４名
・東北福祉大学女子陸上競技部…２回目（R7～）　選手８名
・駒澤大学陸上競技部…２回目（R7～）　選手２名
・ランニングトレーナー―　鳥光（とりみつ） 健仁（たけのり）さん[Run Buddy Make 代表]　10 回目（H29～）
子どもから大人までを対象としたランニング教室を開設するほか、
様々なスポーツのパフォーマンス向上につなげる体づくりを広める
活動をされています。

7　問い合わせ

宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会事務局（宮古市スポーツ協会内）

（☎62-6000）

宮古市交流推進部スポーツ文化課（☎68-9120）



RUN as ONE
TOKYO MARATHON 2028

第40回記念宮古サーモン・ハーフマラソン大会は RUN as ONE - Tokyo Marathon 2028（一般）の提携大会です。

本大会にてハーフの部を完走し、東京マラソン2028の参加資格及び下記条件に該当している方を対象に、抽選で6名様へ東京マラソン2028の出走権を付与します。

【参加条件】
- 東京マラソン2028に出走するための諸経費（参加費や交通費、宿泊費等）を負担できること
- 国籍は問わず、日本国内に居住していること

本大会で取得する個人情報は、東京マラソン財団に電磁的方法により提供されます。
提供する個人情報は、①氏名 ②性別 ③年月日 ④記録（リザルト）⑤連絡先 となります。
提供された個人情報は、RUN as ONE - Tokyo Marathon 2028のエントリーに利用されます。



記念大会特別ゲスト
間 寛平



特別ゲストランナー
よこっちピーマン

第40回記念 宮古サーモン・ハーフマラソン



















ハーフマラソン | **10km** | **5km** | **ペアマラソン**

開会式 / 大会当日 8:00〜8:30

宮古市消防署前広場

サーモンくん　みやこちゃん

申込締切
9月30日(水)

主催 / 宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会
（宮古市・(株)エフエム岩手
(一財)宮古市スポーツ協会・宮古市陸上競技協会）

主管 / 宮古市陸上競技協会

QRコードをスマートフォン・携帯電話で読み込みエントリーしてください。RUNNETへと繋がります。

2026 11/8(日)

8:50AM 雨天決行

お問い合わせ 宮古サーモン・ハーフマラソン大会実行委員会事務局
〒027-0038 岩手県宮古市小山田 2-1-1 東北ヒロセ シーアリーナ（宮古市民総合体育館）内 TEL 0193-62-6000

資料_催事３

笠原将弘シェフによる料理教室の開催及びレシピ本の寄贈

１　概　要

東日本大震災以降、本市と継続的に関わりのある日本料理店「賛否両論」（東京都）のオーナー兼料理人・笠原将弘氏を講師に迎え、宮古小学校６年生を対象とした料理教室を開催する。児童が笠原氏と一緒に料理を作り、食を通じて交流を深める。

また、読書を通じた食への関心の向上や食育の推進、和食文化の継承・普及、料理を通じた家族のコミュニケーション促進を目的として、笠原氏から市内の学校に著書４種類を寄贈いただく。

２　日　時

令和８年 11 月 11 日(水)　10:00～14:00

３　会　場

宮古市立宮古小学校　　調理室（料理教室）及び校長室（料理本寄贈）

４　主な内容

（１）10:00～　料理教室（調理室）
　　①　講師紹介、笠原氏による講話
　　②　６年生児童との調理
（２）12:00～　食事
（３）13:00～　料理本寄贈（校長室）
　　笠原氏から児童代表へ料理本を贈呈

５　料理本の寄贈について

（１）寄贈書籍
　① 「賛否両論」おせちの本完全版（KADOKAWA）
　② 笠原将弘の毎日父さん弁当（KADOKAWA）
　③ 賛否両論 味の世界（KADOKAWA）
　④ 賛否両論笠原がみなさんの自炊を応援する本（KADOKAWA）
（２）寄贈先・冊数
　宮古市内の公立小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校に、各校４冊（各１冊）を１セットとして寄贈する。

６　問い合わせ

市教育委員会事務局学校教育課（☎68-9116）

資料_催事4



見つけよう！未来の自分！！

しごとメッセin宮古 2026

見てみよう！地元企業の魅力
聞いてみよう！先輩のリアルな声
やってみよう！仕事体験

令和8年11月20日（金）

午前の部　10:00～11:30

午後の部　13:00～15:30

会場／**東北ヒロセ シーアリーナ**

対象／**宮古管内の生徒および保護者**

参加企業 45社

気になる仕事がいっぱーい！



保護者の方はお申込み不要！ぜひお気軽にご参加ください。

タイムスケジュール

【午前の部】

9：30～10：00	受付
10：00～10：10	開会・説明
10：15～10：30①	企業プレゼン
10：35～10：50②	(見学ブース指定)
10：55～11：10③	企業プレゼン
11：15～11：30④	(見学ブース自由)
11：30～11：35	閉会・解散

【午後の部】

12：30～12：45	受付
13：00～13：10	開会・説明
13：20～13：35①	企業プレゼン
13：40～13：55②	(見学ブース指定)
14：00～14：15③	
14：15～14：30	（休憩15分）
14：30～14：45④	企業プレゼン
14：50～15：05⑤	(見学ブース自由)
15：10～15：25⑥	
15：25～15：30	閉会・解散

【お問合せ】　宮古地域雇用対策協議会事務局（ハローワーク宮古内）　TEL（0193）63-8609
【主　催】　宮古地域雇用対策協議会／宮古公共職業安定所

しごとメッセin宮古2026

参加事業所一覧

No.	業　種	事　　業　　所　　名	会場	体　験　内　容	午前参加
1	生活関連サービス業	有限会社　カットインみなと	1		○
2	卸売業	エクナ　株式会社	1		○
3	サービス業	あいえむほけん　株式会社	1		○
4	建設業	株式会社　宮古日舗	1		○
5	サービス業	丸奥自動車工業　株式会社	1		○
6	運輸業	岩手県北自動車　株式会社	1		○
7	医療福祉業	社会福祉法人　若竹会	1	介護機器乗車(操作)体験ほか	○
8	卸売小売業	株式会社　角登商店	1		
9	建設業	株式会社　伊藤住宅設備	1		○
10	運輸業	三陸鉄道　株式会社	1		
11	建設業	佐々総業　株式会社	1	足場模型の組立て作業	○
12	小売業	盛岡日産モーター　株式会社	1		○
13	教育学習支援	社会福祉法人　三心会	1	手遊び、製作など	
14	医療福祉業	社団医療法人　緑川会	1		○
15	製造業	和田工業　株式会社	1	顕微鏡を使って製品を観察	
16	警備業	株式会社　トスネット北東北	1		○
17	医療福祉業	宮古歯科医師会	1		○
18	建設業	陸中建設　株式会社	1	ＰＣ上で研修ツールを用いた現場管理の仕事体験	○
19	建設業	株式会社　岩泉電工	1	配電線の工具を用いた体験 光ファイバーの接続体験	○
20	製造業	株式会社　ウッティかわい	1		○
21	学校	岩手県立大学宮古短期大学部	1		○
22	医療福祉業	社会福祉法人　恵心会	1		○
23	小売業	パティスリーフィエルテ	1		○
24	教育学習支援	学校法人宮古泉学園 認定こども園　宮古泉幼稚園	1	製作	○
25	宿泊業	株式会社みちのりホテルズ　浄土ヶ浜パークホテル	1		
26	医療福祉業	社団医療法人新和会　宮古山口病院	1		○
27	サービス業	岩泉ホールディングス株式会社	1		○

No.	業種	事　　業　　所　　名	会場	体　験	午前参加
28	製造業	株式会社　オーレックス	1	製品を触って仕上げてみよう	○
29	卸売小売業	株式会社　ベルジョイス	1		○
30	公務	地方公務員（山田町／田野畑村）	2		○
31	公務	宮古地区広域行政組合消防本部	2.4	(会場４）はしご車見学、 防火衣装着体験、消防機材展示	○
32	公務	自衛隊岩手地方協力本部宮古地域事務所	2.4	(会場２）迷彩服試着、リュック背負い体験 (会場４）装甲車両等見学	○
33	公務	宮古警察署	2		
34	建設業	刈屋建設　株式会社	3	重機シュミレーターを体験してみよう	○
35	卸売小売業	東北テレメディア開発　株式会社（auショップ宮古）	3	スマホコーティング体験	
36	農林漁業	宮古地方森林組合	3		○
37	学校	職業能力開発施設（宮古高等技術専門校） （宮古高等職業訓練校）	3	金型の組立て体験	○
38	農林漁業	有限会社　浜田漁業部	3		○
39	建設業	株式会社　フジ建築	3	大工作業体験	
40	農林漁業	株式会社　いわき農園	3		○
41	金融業	宮古信用金庫	3	伝票集計、札勘	○
42	卸売小売業	株式会社　びはんコーポレーション びはん　株式会社	3		
43	その他小売業	株式会社　ＤＯＧ１ハートフル	3		○
44	食品製造業	カネ弥　株式会社	3	本わさびのすりおろしや製品に触れる体験	○
45	建設業	宮古地区電気工事業協同組合	4	(4-1）電気工事の工具や資材に触れる体験 (4-2）高所作業車体験	○

※体験の記載内容は予定ですので、当日に内容が変更となる場合があります。
※物品量や時間の都合により、体験は一部の方のみとなる場合があります。



ユースエール認定企業・くるみん認定企業を知っていますか？

【ユースエール認定企業とは】

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業(常時雇用する労働者が300人以下)を若者雇用促進法に基づき、厚生労働大臣が認定するものです。

休暇を取りやすい、残業時間が少ない、離職率が低い、若者の育成に熱心、子育てがしやすい、などの全ての条件を満たし、毎年認定更新を受けています！



【くるみん認定企業とは】

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けることができます。



資料_催事5

シンポジウム

がんと折り合いをつけて生きる

―これからはがんサバイバーシップの時代―

基調講演



熊坂　義裕　氏

医師、社会的包摂サポートセンター代表理事、元宮古市長

パネルディスカッション

「がんと共に生きる」

コーディネーター

高橋　都　氏

医師
NPO法人日本がんサバイバーシップネットワーク代表理事
宮古市出身



パネリスト



村上　晶彦　氏

岩手県対がん協会診療部長兼専務理事、
元岩手県立宮古病院院長

熊坂　義裕　氏

古澤　優子　氏

岩手県立宮古病院
乳がん看護認定看護師



腹子　あきこ　氏

元日本医科大学付属病院
がん化学療法看護認定看護師

日時　**2026年11月21日(土)**

午後1時30分～3時30分(午後1時開場)

参加料　無料

会場　市民交流センター 2階多目的ホール

対象　市民等 140名

【申し込み・問い合わせ先】 宮古市保健福祉部健康課　生活習慣病指導係

◆申し込み期間：11月4日(水)8時30分～11月17日(火)17時　＊定員になり次第締め切ります

◆申し込み方法：電話・FAX・申し込みフォームのいずれか

＜電話＞　0193－64－0111

＜FAX＞　0193－64－5464　＊FAX用紙はチラシ裏面にあります

＜申し込みフォーム＞　＊右記二次元コードからお申込みください

※駐車場が混み合うことが予想されますので、公共交通機関等のご利用にご協力ください。

※駐車場(市役所前・駅東)をご利用の方は駐車料金が無料になりますので、駐車券をお持ちください。

主 催：宮古市

後 援：宮古医師会、宮古歯科医師会、宮古薬剤師会、宮古保健所、岩手県立宮古病院

FAX送信用紙

シンポジウム

がんと折り合いをつけて生きる

日時：2026年11月21日（土） 午後1時30分～3時30分（午後1時開場）

会場：市民交流センター2階多目的ホール

【参加申込書】

宮古市保健福祉部健康課 生活習慣病指導係行き

FAX 0193－64－5464

◆ご参加希望の方は下記にご記入ください。

複数名でお申込みの場合は、それぞれの方の情報をご記入ください。

NO	（ふりがな） 氏名	年代 ※記入例：70代	地区 ※記入例：宮町	電話番号
1				
2				
3				
4				
5				

◆パネリストの方へのご質問をお寄せください。

資料_催事６

黒石市・宮古市 姉妹都市締結 60 周年記念事業
第 35 回 黒石りんごまつり「記念セレモニー」の実施について

１　概　要

宮古市と黒石市は、歴史と伝説によるつながりを背景に、昭和 41 年４月１日に姉妹都市を締結し、産業、文化、教育、スポーツなど幅広い分野で交流を続けている。

今年度、姉妹都市締結 60 周年を迎えたことから、記念事業の一環として「第 35 回黒石りんごまつり」に参加し、記念セレモニーや宮古市の特産品販売などを行う。

２　第 35 回黒石りんごまつりの開催概要

（１）日　時　　11 月 21 日（土）～22 日（日）　９時 00 分～15 時 00 分

（２）会　場　　スポカルイン黒石（青森県黒石市ぐみの木三丁目 65）

３　姉妹都市締結 60 周年記念セレモニー【11 月 22 日（日）11 時 45 分～】

（１）両市長挨拶　① 今 大介 黒石市長　② 中村 尚道 宮古市長

（２）記念品贈呈

薬師塗漆工芸椀【宮古市贈呈品】

※お椀は二客一組で、黒石市をイメージした「赤」と、宮古市をイメージした「浄土ヶ浜エターナルグリーン」の特別仕様。絵柄には、螺鈿技法により両市を象徴する「りんご」「もみじ」「鮭」「はまぎく」等をあしらい、60 年にわたる友好の絆を表現。銘板は宮古市に立地するパンチ工業株式会社が製作。

（３）福まき　　一般的な餅の代わりに、宮古市の「いかせんべい」を使用した福まきを実施

※当たり付きで、当選者には宮古市の特産品として出店業者の商品を贈呈。

（４）記念公演　　山口太鼓の会（12：05 頃～）※宮古市を拠点に活動している創作和太鼓団体。

４　出店業者　　（屋内ブース）５店舗（屋外ブース）３店舗【合計】８店舗（７団体）

（１）屋内ブース		
①	宮古市	宮古市ＰＲコーナー
②	株式会社かけあしの会	瓶ドン、海産加工品（わかめ等）、乾物等の販売
③	有限会社すがた	いかせんべい各種販売
④	菱屋酒造店	酒類の販売（日本酒・リキュール等）※試飲可
⑤	つちや本舗	芋ようかん、栗蒸しようかん等の販売
（２）屋外ブース		
⑥	浄土ヶ浜レストハウス	磯ラーメンの販売（ボイルホタテなどの海産物入り）
⑦	株式会社かけあしの会	蒸し牡蠣、宮古の塩だれホルモン焼き、焼き団子等の販売
⑧	古須賀商店	カレースープ、トラウティーヤ（トラウトサーモンのタコス）、タラティーヤ（真鱈のタコス）、ホットコーヒーの販売

国指定名勝「浄土ヶ浜」

宮古市 Miyako City

宮古市 交流推進部 交流推進課 交流推進係
〒027-8501 岩手県宮古市宮町一丁目１番３０号（３階）
直通：0193-65-8622（直通）　FAX：0193-63-9115
Mail：kouryuu@city.miyako.iwate.jp（課代表）

本州最東端のまち「みやこ」

資料_催事７

津軽石小学校創立 150 周年記念式典

１　概　要

津軽石小学校は、明治９年６月に創立し、本年創立 150 周年を迎える。

これを記念し、児童、地域住民、旧職員、学校関係者等が参加する記念式典を開催する。式典を通じて、150 年にわたる学校の歩みや地域とのつながりを振り返り、児童の学校や地域への理解と愛着を深める機会とする。

２　日　時

令和８年 11 月 21 日（土）　10:00～11:00

３　会　場

津軽石小学校体育館

４　主な内容

（１）オープニングアクト「津軽石さんさ踊り」
（２）県政 150 周年オープニングビデオ
（３）津軽石小の歩み　スライドショー
（４）宮古市民歌斉唱
（５）実行委員長挨拶、市長祝辞
（６）来賓紹介並びに祝電披露
（７）記念ロゴ・キャラクター表彰
（８）記念品贈呈（150 周年記念品を学校に贈呈）
（９）アトラクション（全校呼びかけ・合唱）
（10）校長お礼の言葉
（11）校歌斉唱

【津軽石小学校 150 周年記念ロゴ】



【津軽石小学校 150 周年記念キャラクター】



サッコラン

５　参加者

約 250 名（児童、地域住民、保護者、旧職員、実行委員、来賓、教職員等）

６　津軽石小学校の主な沿革

・明治９年(1876 年)　６月　　津軽石小学校創立
・昭和 22 年(1947 年)４月　　学制改革により津軽石村立津軽石小学校と改称
・昭和 30 年(1955 年)４月　　町村合併により、宮古市立津軽石小学校となる
・昭和 52 年(1977 年)６月　　創立 100 周年記念式典、新校舎落成記念式典
・平成６年(1994 年)　９月　　相撲場完成（津軽石鮭繁殖保護組合寄贈）
・平成 23 年(2011 年)３月　　東日本大震災により津軽石、赤前、白浜地区が被災
・令和　４年(2022 年)４月　　赤前小学校と統合

７　問い合わせ

市教育委員会事務局学校教育課（☎68-9116）

資料_催事8

みやこ 冬の味覚イベントリレー

宮古市田老 鮭あわび まつり

第47回

あわびとり体験

❶10:00～（受付：9:30～9:50）
❷12:30～（受付：12:00～12:20）

60人限定（各回30人）
参加料　1人 **1,500円**
2分間で2枚まで、補償枚数1枚

当日抽選

特製 鮭つみれ汁販売

11:45～販売開始
1杯300円（数量限定）

ステージイベント



11:15～ 八幡平さくらさんさ



13:45～ 津吹みゆさん（JF共済イメージキャラクター） JF共済 歌謡ショー

10:45～ 田老一中太鼓

令和8年 11/22日

時間 9:00～14:30

場所 田老野球場駐車場

※イベントの内容は、海況・水揚げにより、予告なく変更・中止になる場合があります

岩手県八幡平市 姉妹都市締結20周年

八幡平市の特産品コーナー



海産物・農産物等の販売、体験競り市、餅まき他

販売ブース参加店舗

- 産直とれたろう
- はなや蕎麦たろう
- 畠山りんご園
- 宮古・下閉伊地方原木しいたけ生産推進協議会
- 三陸リアス縁日会
- 壺焼き芋専門店甘すぎてごめんね
- オズファクトリー
- 佐川急便
- あびさあべ
- 慶寶丸水産
- 二代目母娘
- フィリップモリスジャパン
- 田老町漁業協同組合
- 八幡平市・八幡平市産業振興(株)
- 田中菓子舗
- 社会福祉法人・翔友みやこワークステーション
- ファミリーショップまるや
- 山根商店
- 関村商店
- 菱屋酒造店
- かけあしの会
- 丸徳
- ひきめの里直売所の会
- ちゃんこ太五郎
- 炭火焼き鳥専門たけまる屋
- ＪＴ

キッチンカー
- ＤＡＩＭＯＮ
- ＮＥＭＡＴＴＥ
- たこ焼きはこちゃん
- ピッコラキッチン
- 鳥もと

津波遺構一般公開



10:00～12:00

※事前申し込み不要（無料）
※会場から徒歩5分

【主催】田老観光イベント実行委員会　【事務局】田老総合事務所地域づくり係内　岩手県宮古市田老一丁目3番4号　TEL 0193-87-2971　FAX 0193-87-3667

第47回 宮古市田老 鮭・あわびまつり

2026.11.22
in 田老野球場駐車場

【タイムスケジュール】

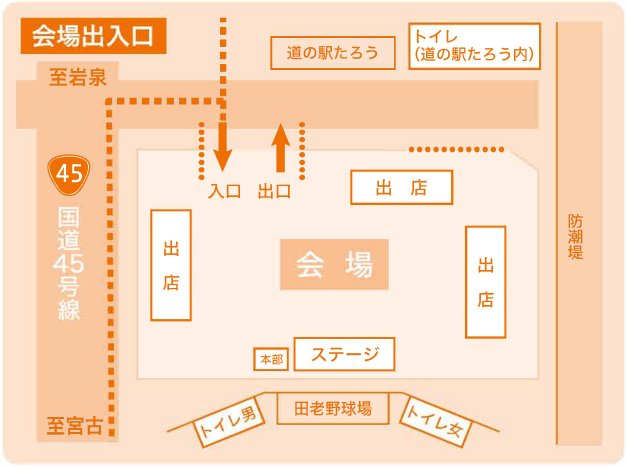
時　間	イベント
9:10～	オープニングセレモニー
9:20～	餅まき
9:30～	あわびとり体験参加者受付開始①
10:00～	あわびとり体験① （定員：30人／参加料：1人1500円／2分間2枚まで）
10:45～	ステージイベント　田老一中太鼓
11:15～	ステージイベント 八幡平さくらさんさ
12:00～	あわびとり体験参加者受付開始②
12:30～	あわびとり体験② （定員：30人／参加料：1人1500円／2分間2枚まで）
13:15～	体験競り市
13:45～	ステージイベント 津吹みゆ　JF 共済歌謡ショー
14:25～	餅まき

※イベントの内容は、海況・水揚げにより、予告なく変更・中止になる場合があります

会場案内図

※駐車場は次のとおり
①田老町漁協前駐車場
②田老野球場南側駐車場
③田老第一中学校校庭





【主　催】田老観光イベント実行委員会
【事務局】田老総合事務所　岩手県宮古市田老一丁目3番4号　TEL 0193-87-2971　FAX 0193-87-3667

資料_催事9

みちのく潮風トレイル
Michinoku Coastal Trail

三陸ジオパーク
Sanriku Geopark



三陸の記憶を未来へつなぐ
―大地と暮らしのものがたり―

Sanriku MCT×GEOPARK
シンポジウム2026

豊かな自然の恵みと、津波災害からの復興の歴史を持つ三陸。
明治三陸津波から130年の節目に、先人たちの思いと教訓を振り返り、
三陸ジオパークとみちのく潮風トレイルの視点を通じて地域資源の価値を
再発見し、これからの三陸にどう活かしていくかを共に考えます。

参加無料
［要事前申込］
どなたでも
参加できます

2026.11.29 Sun. 13:30~16:00（開場13:00）

浄土ヶ浜パークホテル3階 コンベンションホール鳳松（岩手県宮古市日立浜町32－4）

みちのく潮風トレイル × 三陸ジオパーク

シンポジウム2026

三陸の記憶を未来へつなぐ

― 大地と暮らしのものがたり ―

豊かな海の恵みと特徴的な地形に育まれてきた三陸地域は、世界有数の好漁場を有する一方で、地震・津波が繰り返し発生する自然災害の多い地域でもあります。人々は自然の恩恵を受けながら、その脅威とも向き合い、幾度もの災害を乗り越えて地域の暮らしや文化を築いてきました。

明治三陸津波から130年の節目を迎える今年、当時の被災や復興の歩みを振り返り、先人たちが残した教訓を現代に生かす方策を考えるとともに、三陸ジオパークとみちのく潮風トレイルの視点を通じて、地域資源の価値を再発見し、その保全と継承につなげることを目的として、本シンポジウムを開催します。

Program:

01

基調講演／13:40~14:40

「三陸の記憶を未来へつなぐ」― 大地と暮らし、災害と復興の記録 ―

【碑の記憶】の取材から伝わるもの

(株)岩手日報社 一関支社長　太田代 剛 氏

明治三陸津波の時代からみる まち、むら、道 の移り変わり

山形大学教育学部 講師　熊谷 誠 氏



山田高校生の活動の様子

02

地域の事例紹介／14:40~15:00

事例1 **山田高校生徒による「震災伝承活動」の報告**

岩手県立山田高等学校1学年

事例2 **「トレイルを歩いて見つかるジオツアー」の実施報告**

三陸ジオパーク認定ガイド　伊藤 実知子 氏



伊藤 実知子

三陸ジオパーク認定ガイド

大槌町出身、山田町在住。
子どもの頃から岩石鉱物、民俗学や郷土史が好きで昔話や石を拾いながら育つ。

03

トークセッション／15:15~16:00

「三陸の記憶を歩く」―大地と暮らしのものがたりを辿る道―

モデレータ：相澤 久美 氏

パネリスト：太田代 剛 氏／熊谷 誠 氏／ルイス ロビン敬 氏／千田 房代 氏

MC：ふじポン



Speakers:



太田代 剛

株)岩手日報社
一関支社長

写真部、運動部などを経て2011年から東日本大震災の報道を担当し、伝承の意義と課題を探る連載「碑(いしぶみ)の記憶～石碑編」を2018年から開始。花巻市出身。



熊谷 誠

山形大学 教育学部
講師(地理学・地域防災)

明治、昭和三陸津波の新聞記事や伝承碑の調査に携わり、高台移転した地域の変遷や住民間の津波防災への意識、地域の防災体制をテーマに研究を継続。



ルイス ロビン敬

(一社)
Social Innovation Japan
代表理事

日本初の無料給水プラットフォーム「mymizu」の共同創設者。MCTをスルーハイクし、「Michinoku Trail Walker」やMichinokuTrail.comを通じて魅力を国内外に発信。



千田 房代

三陸ジオパーク
認定ガイド

大船渡市三陸町出身。2019年より東日本大震災津波伝承館の解説員として震災伝承に携わり、現在は、三陸の魅力を伝えるガイド活動にも取り組んでいる。



相澤 久美

認定NPO法人みちのく潮風トレイルアソシエーション
常務理事・事務局長

建築、映画、アート等に従事し、2015年からMCTの運営計画策定時に携わり、2017年に運営NPOを設立。全国で官民連携によるトレイルづくりと文化醸成に取り組む。

同時募集

＼ツアー参加だけでもOK!／



トレイルを歩いて見つかるジオツアー

山田町にて(船越～荒神社)

11月28日(土)
11:00~15:00
(予定)

講演内容に合わせたテーマで前日開催(有料)。
三陸ジオパーク認定ガイドが現地を案内します。
＊詳しくはHPをご覧ください

お申し込み　締切：11月20日(金)17:00まで

応募フォームの場合
右のQRコードから
応募フォームへ
必要情報をご入力の上
送信ください

メールの場合
info@sanriku-geo.com 宛に、
件名を「シンポジウム・トレイルジオツアー参加申込」として送信ください

お問い合わせ　三陸ジオパーク推進協議会　info@sanriku-geo.com　0193-64-1230

主催：三陸ジオパーク推進協議会／認定NPO法人みちのく潮風トレイルアソシエーション　共催：みちのく潮風トレイル関係自治体協議会／公益財団法人さんりく基金 三陸DMOセンター
協賛：日本航空株式会社／東日本旅客鉄道株式会社　協力：県北広域振興局／沿岸広域振興局／宮古市／山田町／一般社団法人宮古市観光文化交流協会
後援：環境省東北環境局／三陸復興国立公園協会／東日本大震災津波伝承館／三陸鉄道株式会社／一般財団法人3.11伝承ロード推進機構